福岡県高教組情報　第1号

2023年4月15日発行(通算126号)

高教組HPはこちら

福岡県高等学校教職員組合　　清水雅数
福岡市東区馬出1-9-13　高教組会館2F
電話 092-631-4631　FAX 092-631-4662
メール　fukko@fhtu.com
組合員　全員配布

２023年度のとりくみをすすめます　～委員長あいさつ～

去年は何を書いただろうかと、机をひっくり返してみました。出だしは、「連日、ウクライナ侵攻と新型コロナ感染症が報道で取り上げられています。」でした。ウクライナ侵攻は、停戦・終戦の声より、武器供与など支援の声が高く、平和憲法を持つ日本の総理大臣がウクライナ訪問の際に「必勝しゃもじ」をお土産にしたことなどが連日報道されています。

すべての人権を奪う戦争に対し、日本国憲法の「戦争の放棄」、日教組のスローガン「教え子を再び戦場に送るな」は、二度の世界大戦を経験した戒めであるとともに、いつの時代にも不変なものです。

国内では、消費者物価指数が４％を超え、春闘の３月連合集計が賃上げ３．８％とはいえ、物価上昇分に見合わないのが現状です。一方職場は、課題山積で、新型コロナ感染症は、５月と９月に第９波・第１０波が予測され、第５類相当に引き下げとは言え気を抜けません。そのような中、一部では、コロナ禍の経験を活かさず、行事の精選はどこ吹く風と闇雲に「コロナ禍の前に戻そう」とする動きも見られます。

本部への問い合わせ、高教組ホームページへのアクセスが増えています。高教組は、同じ職場で働く仲間の「拠り所」として、聞き取りをもとに、地公法に定められた職員団体として県教委と折衝し問題解決を図っていきます。そして、とりくみの成果と勤務・労働条件のポイントを「はやわかり手引き2023」として配布します。
ホームページやチラシを見て採用試験対策講座に申し込まれた方や、加入を決めた方も毎年見られ、常勤・非常勤講師の先生方の加入も年々増えています。

このような中、４月１５日に第１回支部長会を開催し、今年度のとりくみをスタートします。６月１７日には、高教組の最高決議機関である第８１回定期大会を開催し、この１年間の活動方針を決定します。課題は山積していますが、皆さんの英知を結集し、自信と確信を持って高教組運動を前進させていきましょう。

執行委員長　清水雅数

高教組って？

「集うこと・声をあげること・拡げること」そして「つながること」

私たち、福岡県高等学校教職員組合（高教組）は県立の高校と特別支援学校などに働く教職員でつくる組合です。政令指定都市以外の県内小中学校の組合（福教組）と福岡県教職員組合協議会（福教協）を構成し、福岡県職員労働組合（県職労）とともに地公労に結集しています。

日本の労働法制は組合の存在を前提としています。私たち、教職員の賃金･労働条件は、福岡県および福岡県教育委員会との交渉を経て決定されており、高教組は、地方公務員法に定められた「職員団体」です。地方公務員である県立学校教職員として加入することが当たり前の組合です。

高教組は、県立学校の教職員が助け合い、働きやすい職場にしていくための拠り所です。学校で矛盾や問題を感じた時に、黙っていたり、不満を表明するだけでは解決にはつながりません。学校では、使用者である学校長と問題解決のため、協議や交渉を通じて問題解決を図ります。学校だけで解決しない場合は、県本部が県教育委員会と協議を行います。

現在までに、新規採用となった臨採部組合員など加入申し込みが続いています。悩みや困りごとを抱えている教職員、組合に加入したいと思っている教職員は少なくありません。組合員のみなさん、自信と誇りを持って、未加入者に高教組加入を呼びかけましょう。その事が、組合員である私たちにとっても、まだ組合を知らない教職員にとっても重要です。今年度もみんなで協力して組合としての活動をすすめましょう。

組合員のみなさまへ情報をいち早くお伝えします

高教組本部では、さまざまな教育課題の解決のために県教委と協議を行っています。また、毎日多くの教育に関する情報が寄せられます。

これらのことをいち早く組合員のみなさまへお伝えするため、高教組はホームページを運営しています。日々の協議の内容や必要な情報を随時掲載していきますので、一人でも多くの組合員に利用・活用をお願いします。

左のQRコードから高教組ホームページに移動します。ご自身のスマートフォンやパソコンに登録していただくことをお勧めします。パスワードは支部長、分会長におたずね下さい。

高教組オリエンテーションのとりくみ

福岡高教組では例年4月を「高教組オリエンテーション」のとりくみ期間とし、各分会には新規採用者に対して福岡高教組の存在と役割について説明し、加入のお願いをしていただいております。

本年も3月の最後の支部長会で確認し、とりくみをすすめているところです。4月初旬に学校や支部長さんあてに新規採用者向けのグッズを送っています。それらを積極的に活用していただき、高教組のことを新規採用の皆さんにぜひお話し下さいますようお願いいたします。

年度初めで大変ご多忙とは存じますが、計画・実施をよろしくお願いいたします。ご要望があれば、執行委員が出向きます。

左のQRコードを読み込むとオリエンテーションの方法をお示ししています。ご利用ください。

フレッシャーズセミナーを開催しました！

3月26日に新規採用者5名を含めて20名が集い、和やかな雰囲気の中で行いました。

まず、若年者研修対象の組合員３名から採用1～2年目の様子を語ってもらいました。その中で「組合に入っていることは、大きな支え。」「同じ分会の先生だけでなく、幅広く人間関係を築いて行ける」「若年者研修中に、良かれと思っていろいろ『指導』してくれる方もいらっしゃると思うけれど、すべてを真に受けていたら自分がつぶれてしまう危険性がある」「頑張りすぎて、心身のバランスを崩さないように」と当事者だからこその貴重な意見や助言がありました。その後、新規採用者は赴任する学校の情報を組合員から提供してもらうことで、赴任してからのイメージを膨らませることができたようです。参加者の中には予定された時間の後も、情報交換や交流等を活発に行う様子も見られました。

福岡高教組は今後とも新規採用者が「イキイキと仕事ができるように」応援していきます。分会で、積極的な声掛けと「新採者が相談しやすい雰囲気づくり」をお願いします。

WEBで詳細をご覧下さい

問題解決のために、今やっていること・できること

3/28　春闘地公労副知事交渉

22年度末の超勤問題検討会において、勤務時間の縮減について実態をどうとらえているか、県の認識を質しました。「不正打刻の撲滅」「持ち帰り業務のありよう」「業務量の実態把握とその削減」などの点で、私たちの実感とは大きな隔たりがありました。

協議の場で、資料として示された県教委の実施した調査結果によると、県立９３校（標本数：運動部1728部）から寄せられた「部活動休養日」の平均設定日数は４月～９月で12.0日、８日以上の休養日を設定した割合は82.4%となっています。皆さんの職場の実態に照らして、どんな印象をお持ちでしょうか。超勤を減らすための協議の前提となる実態把握と課題の共有をさらに進めて行かねばなりません。

3/28に地公労（県職労・福教組・高教組）で副知事・教育長との交渉の場を設定しました。昨年秋の確定闘争で確認された処遇改善に向けての県としての取り組みを誠実に行うよう求めたところです。

民間春闘の回答が軒並み「〇〇年ぶりの大幅賃上げ」となっているのは、報道で皆さんご承知のとおりです。我々地方公務員の賃金労働条件は、８月の人事院勧告を受けた９月の福岡県人事委員会の勧告によって決まります。県教委に働きかけることで、人事委員会の勧告に我々の要求を反映させることが可能です。

高教組は教職員が健康で安心して働くことができる職場づくりをめざします！

第８１回定期大会

6月17日（土）
10:00～15:00(予定)
福岡県教育会館3階

定期大会は2022年度のとりくみをふり返り、2023年度の高教組の活動方針を決定する最高の議決機関です。

新型コロナウイルス感染症の流行以前の形式をもとに、新しい次第と時間配分で開催します。

大会議案書は6月1日以降、支部に郵送します。必ず手に取ってお読みください。

積極的に参加していただき、これまでの高教組のとりくみに関わっての現場の実情やこれからのとりくみへの意見をお願いします。

課外授業のあり方を問う！

～働き方改革の文脈で～

県教育委員会は「教職員の働き方改革取組指針」（2021年3月改定）の中で、いわゆる「課外授業」の適切な見直しが図られるよう求めています。私たちがその根幹に据えるべきものは、いったい何でしょうか。

熊本県ではすべて廃止されることが決まりました。福岡県でも「全員に強制」するスタイルこそなくなったものの、「受講することへの圧」はきわめて強いのではないでしょうか。時間外の勤務にならない放課後の課外が、私たちの働き方に与える影響の大きさを直視し、解決策を講じる時が来ました。

教科担当者の意向を踏まえた（＝課外担当の可否の意思確認）上での開設可能な講座数の設定、外部指導者の確保が確認できない場合は、課外の実施を禁止するなどの「規制」を県教委に求めて行くことができないか考えています。

折々

副委員長　西岡伸夫

新年度が始まって、2週間経過しました。昨年度１年間、新米の執行委員という立場で組合活動をやる中で、初めて経験することばかりでしたが何とか務めを果たすことが出来ました。皆さんのご協力に感謝申し上げます。

今年、県立学校は、264人の新規採用の先生方をお迎えしました。最長で43年間となる在職期間、生き生きと定年退職の日を迎えていただきたいと願います。

定年引上げが開始されます。運用される中で出てくるであろう課題に、高教組としての意見を反映させて行かなければなりません。組合は、より良い教職生活を送るためには不可欠な存在です。

高教組オリエンテーションを通して新採者の方々にエールを送りましょう。自信と矜持を胸に。

平日の　夜桜だって　誘い合える　そんな職場に　変えよう皆で

2023年度の当面の事業・諸会議（予定）

当面するものをお伝えします。ご予定に入れておいてください。変更の場合は、随時HPで更新しますのでご確認ください。

機関会議	
6月17日（土）	第81回　定期大会

教研関係	
6月10日（土）	第1回教研推進会議

本部主催学習会	
8月19日（土）	会計年度職員学習会
8月26日（土）	青年教職員のつどい

ブロック合同会議	
5月13日（土）	福岡・筑後
5月20日（土）	北九州・筑豊

教員採用試験対策講座	
一次対策	二次対策
5月21日（日）	8月6日（日）
6月11日（日）	8月11日（祝）
6月25日（日）	8月20日（日）
7月2日（日）	

拡大執行委員会・専門委員会	
4月8日（土）	11月3日（金）
4月30日（日）	12月9日（土）
6月3日（土）	2024年
7月22日（土）	1月20日（土）
9月16日（土）	3月16日（土）
10月14日（土）	

九協関係	
8月1～2日	高校シンポジウム
8月16～17日	教育運動交流集会
8月19～20日	実習教職員のつどい

上記の３集会、福岡開催です。ご予定を

FHTU

あなたの力が必要です！

訃報　元委員長大塚和弘さんが4月６日８５歳でご逝去されました。哀心より哀悼の意を表すとともに、ご冥福をお祈りいたします。

共済にしかない、ひと味違うその良さを。ぜひ、問いあわせを。